

平成30年度 「特色ある学校づくり事業」 実践事例

佐世保市立日野小学校 佐世保市日野町1308番地
校長 高橋 ちあき 児童数 585名 学級数 23学級
(平成30年5月1日現在)



教育目標

- 自分の思いや考えを豊かに表現し、
高めあう児童の育成

テーマ

- 郷土を知り、郷土を愛する心を育てる
- コミュニケーション力の向上を図る

目的

豊かな人間性を育成するために児童・地域の実態を踏まえ、多くのひと・もの・こととふれ合い、学校教育目標の推進と創意工夫を生かした特色ある学校づくりを実践する。

実践内容

「郷土とともに歩む学校づくり（地域の匠作品展）」

- 人々の思いや生き方に触れることを通して本校教育目標を達成するために、今年9年目となる「地域の匠作品展」を11月末に開催した。町内10自治会、公民館など外部人材・団体との連携・協力の機会を得、開かれた学校づくりが推進できた。今回の展示作品は計90点(書・絵画・手芸・写真など)。日野地区内の住民、保護者、児童など750名の参観があった。「地域には、埋もれた宝がたくさんあるのを実感しました。また、来年も楽しみにしています。」という意見が聞かれ、地域の方も楽しみにされていることを実感した。また、作品を通じた地域交流を図ることが出来た。



「地域の匠展」の様子

第1学年「『昔遊び』でふれあいを」

- 1年生の児童は、生活科「たのしさ見つけたよ ふゆ」の学習で、昔遊びに親しんだ。友達と教え合ったり、昼休みに自分たちで練習したりしながら、少しずつ上達していった。児童の祖父母、父母にも声をかけて「むかしあそび交流会」を行った。約40名の方が来てくださり、あやとり・おはじき・お手玉・こま回し・竹馬・羽根つき・かるた・だるま落とし・けん玉の遊びで、一緒に遊んだり教えたりして触れ合ってくださいました。たくさんのおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんと話したり、教わったり、尋ねたり、一緒に遊んだりするよいふれあい体験ができた。
- 一年間いろいろ教わってお世話になった6年生への感謝とお祝いの気持ちをこめて、ピオーラやノースポール、チューリップなどを植える栽培活動に取り組むことができた。



第2学年「おもちゃ大会」

- 生活科の学習で、おもちゃを作って楽しく遊ぶ学習を行った。そのおもちゃを遊んでもらいながら交流を図ろうと、1年生や近隣の幼稚園・保育園の園児たち、保護者の方々を招き、計3回「おもちゃ大会」を開催した。事前にグループで作るおもちゃを考えたり、遊び方を改良したりするなど、協力して準備をした。園児たちを招いての活動では、上級生としての意識も高まり、2年生の成長を感じられる貴重な体験となった。



第3学年「九十九島の自然と生き物」

○ 3年生は、九十九島水族館「海きらら」を見学したり、長尾半島ウォークラリーを行ったりするなど、計7回の体験学習を実施した。水族館では、イルカやカブトガニ、クラゲなど九十九島ならではの生き物について教えていただいたり、水族館のバックヤードを見学させていただいたり、九十九島の自然や生き物についてたくさんのことを教えていただいた。年間を通して継続して学習していったので、休日にも水族館に出かけて生き物たちと親しむことができていた。最後には、九十九島の生き物について調べたことをまとめて、授業参観で発表会を行った。



イルカの水槽で



九十九島の生き物クイズラリー

第4学年「日野っ子エコ大作戦」

○ 4年生は、環境学習の一環として「エコ」をテーマに、ごみの減量化を通し、自分達で環境をよくすることについて学習した。家庭や学校から出る生ごみを有効に活用するために、EM菌を活用したボカシ肥を使った野菜作りに挑戦した。GTとして、長崎道守の会の田口昭子さん等に来ていただき、ボカシ肥の作り方やその有効性を学んだ後、実際にボカシ肥を活用し、野菜の種まき、野菜の調理などを行った。学年全体で活動に取り組み、自分たちでできるエコ活動を実践することを通して、環境を守るために努力する態度の向上を図ることができた。



第5学年「今を生きる」～福祉～

- 前期は、長崎短期大学の学生や社会福祉協議会の方から「福祉」について話を聞いた。そして高齢者の疑似体験学習を行い、高齢者の大変さを知ることができた。後期には、日野の高齢者施設を訪問して出し物やふれあいをしたりするなど交流活動も行った。また、聴覚に障害のある方や肢体不自由の方から直接、生活体験を聞いたり、講話を受けたりして、「福祉」という考え方が社会でどのように浸透しているかを学習し、自分たちにできることを考えることができた。そして、1年間で学習した内容をグループごとにまとめ、発表を行った。



高齢者疑似体験



手話を習う

第6学年「長崎を知ろう」

- 自分たちの住む郷土「日野」「佐世保」「長崎」という地域について歴史や史跡、その特色など詳しく学習し、ふるさとのすばらしさに気づき、地域を誇りに思い大切にしていけることを目的として学習をすすめてきた。また、GTに被爆体験の話を知ったり、実際に被爆遺構を見学したりすることで、平和の大切さを深く理解することができた。また、歴史文化博物館と連携し、移動博物館や出張授業などを行ったり、自分たちで長崎の町を歩いたりすることで、長崎の歴史や文化について学習した。



被爆体験者による講話



移動博物館（長崎歴史文化博物館）